

町民説明会の開催結果について

(1) 竹浦コミセン 1月28日(火) 18:30~19:30

- 町民参加者数 17名
- 審議会出席者 岡田委員長、牧野委員、宇津宮委員
- 役場出席者 竹田副町長、古俣副町長、企画課長、事務局
- 主な意見
 - ・ 第5次総合計画の評価結果について
 - ・ 町立病院の必要性について
 - ・ 各地区の実情を踏まえた計画づくりについて

(2) 萩野公民館 1月29日(水) 18:30~19:30

- 町民参加者数 9名
- 審議会出席者 岡田委員長、倉地委員、野瀬委員
- 役場出席者 古俣副町長、企画課長、事務局
- 主な意見
 - ・ 他市との合併等の考えについて
 - ・ 町民へのウポポイ入場料の無償化等について
 - ・ 基本計画で掲げる基本施策の本数について

(3) 白老コミセン 1月30日(木) 18:30~20:00

- 町民参加者数 17名
- 審議会出席者 岡田委員長、中野副委員長、牧野委員、北平委員
- 役場出席者 竹田副町長、古俣副町長、企画課長、事務局
- 主な意見
 - ・ 将来目標人口の設定のあり方について
 - ・ 第6次総合計画で注力する重点施策の考え方について
 - ・ 町民説明会の参加者数について

※ 町民説明会での主な意見は別紙のとおり

町民説明会の開催結果について

竹浦コミセン(1/28):17名参加 萩野公民館(1/29):9名参加 白老コミセン(1/30):17名参加

会場	意見	回答
1 竹浦コミセン	第5次総合計画の評価はどうなっているのか。どういった評価をして、どのような反省に基づいて第6次総合計画を作成したのかを説明してもらえないと意見できない。	【町の回答】 第6次総合計画の策定にあたり、第5次総合計画の評価・検証を行いました。第5次計画の達成度は、5段階評価で3.5（達成率70%）となり、やや進展として評価しております。
2 竹浦コミセン	これだけ人口が減っていて、達成率70%の評価は甘すぎるのではないか。次にこういった機会があるときには、評価・検証の段階から町民に対して説明していただきたい。	【町の回答】 広報やホームページ等、何らかの方法で町民の皆様周知したいと考えております。 ※本意見を受け、29日の町民説明会から第5次計画の評価・検証について追加説明しております。
3 竹浦コミセン	この町の規模で、しかも今後も人口減が続いていく中、町立病院は必要なのか。登別市、伊達市でも市立病院は持っていない。	【町の回答】 高齢化が進む中、地域医療として回復期の病院が求められています。急性期の病床を回復期の病床に転換していく方向で検討を進めておりますので、ご理解願います。
4 竹浦コミセン	私の住んでいる地区には店もなく、まちの中心部へ行くのにも足がない人が多い。地区ごとの実情を把握し反映させた計画づくりに努めてほしい。	【町の回答】 地区計画については、今後策定予定である地区コミュニティ方針に基づき検討していきます。
5 萩野公民館	将来目標人口が13,815人ということだが、現在より3,000人も減っている。町として存続できるのか。他市との合併等は考えていないのか。	【町の回答】 合併は考えておりません。近隣の市町との連携強化により対応していきます。
6 萩野公民館	今後ウポポイに関連した事業は町の目玉となる。町民全員で応援していくためには、ウポポイの入場料の無償化等、町民に対しての配慮が必要であると考えているが、いかがなものか。	【町の回答】 入場料の無償化については、これまでも国に要望しており、現在、折衝中であります。少なくとも全町民が一度は無償で入場できるよう、全力で取り組んでいきます。 【審議会からの意見】 町も国に対してしっかりと働きかけてくれている。アイヌ協会の立場としても町民の皆様には応援していただかなければならないと考えている。
7 萩野公民館	基本計画に様々な事業が盛り込まれすぎのように感じる。今後、実施計画により具体的な事業が明らかになると思うが、すべて実施しようとした場合、莫大な予算が必要となるのではないか。	【町の回答】 今後、人口減が進み、厳しい時代になると想定しておりますが、未来に希望を持てるまちづくりも必要であると考えております。今の現状を重く捉えることも重要ではありますが、町民の皆様にも、希望をもっていただきたいと考えております。 【審議会からの意見】 選択と集中は重要であるが、審議会の中で各委員からあげられた意見を反映させ、増えてしまった部分はある。全てを実施することは難しいと考えているが、総合計画はまちの最上位計画であり、計画期間が8年間ということを踏まえると、未来を見据えながら事業を盛り込んでおくことも必要ではないかと感じる。

会場		意見	回答
8	白老コミセン	PDCAサイクルとはどのようなものか。	【町の回答】 Plan→Do→Check→Actionの4段階を繰り返しながら、計画を継続的に改善・推進していくプロセスのことです。
9	白老コミセン	今後の企業誘致について伺いたい。	【町の回答】 町としても引き続き、企業誘致に取り組んでいきます。企業側も経営の合理化を推進する中、大企業を誘致することは困難ではありますが、近年ではナチュラルサイエンスや丸三機械建設などが、本町に進出しております。
10	白老コミセン	総合計画は町民みんなで作らなければならない。作成過程として町民参加の機会をもっと増やすべきである。	【町の回答】 十分ではないかもしれませんが、前計画策定時よりも町民参加の機会を増やしております。団体ヒアリングや中高生アンケートなど、若い世代の意見を多く取り入れるよう配慮してきました。今後は、より多くの町民の方々にご参加いただけるよう努めて参ります。
11	白老コミセン	人口減少が一番の課題である。将来目標人口は推計値をそのまま設定しているのか。町が何もせずただ減っていく数字を目標と呼べるのか。	【町の回答】 町として何も対策をせず、社人研の推計値をそのまま将来目標人口に設定することは考えておりません。将来目標人口の算出ですが、社人研の低位推計の数値をベースに、町の人口減少対策分を上乗せした数値を設定しておりますのでご理解下さい。
12	白老コミセン	人口減少の進行や、ますます厳しくなる財政状況、ウポポイの開設等、第5次計画策定時よりも時代が大きく変化している。そのような状況のなかで、今後、何に力をいれてまちづくりを進めるのか。	【町の回答】 今回、重点プロジェクトに位置付けている、人口減少の抑制と地域経済の活性化に力点を置き、人口減少対策を推進していきます。
13	白老コミセン	第5次計画からの主な変更点を教えてほしい。	【町の回答】 総合戦略との整合性や、町民参加機会の拡充、重点プロジェクトの絞り込み、評価指標の設定による目標と成果の可視化など、前計画の反省点を踏まえ、改善に努めてきました。
14	白老コミセン	せっかく町民参加の機会を充実させたのだから、未来フォーラム参加者などにも個別で説明会の案内をしても良かったのではないかと。自分たちの意見が反映された計画であるため、違う角度からの意見も出てくると思う。	【町の回答】 町としては、町内会の班回覧をはじめ、ホームページや各種団体等への案内文の発送など、町民説明会の参加周知に努めてきました。しかし、ご指摘のとおり、周知が不十分であったと認識しており、今後については、周知徹底が図られるよう手法の改善等に努めてまいります。
15	白老コミセン	まちの強みを町民が共有していないため、町外にPRできない。例えば、町立病院があるから、町民の命が守られるといった、本町の強みを、町民みんながPRできれば、人口減少の抑制につながるのではないかと。	【町の回答】 多くの町民の方々にPRしていただけるよう、情報共有の強化に努めます。
16	白老コミセン	説明会は本日で3日目であるが、各地区での出席者数を教えてもらうことは可能か。	【町の回答】 虎杖浜・竹浦地区が17名、北吉原・萩野・石山地区が9名、白老・社台地区が17名、計43名です。

会場		意見	回答
17	白老コミセン	もっと突っ込んだ話を聞きたかった。今日の内容であれば総合計画素案の配布だけで十分ではないか。説明会の参加者が合計で43人。町民の意識、町の周知方法等、要因は色々あると思うが、町としてこの人数で十分であると捉えているのか。	【町の回答】 十分であるとは捉えておりません。総合計画はまちの羅針盤であるため、多くの方々が目にする機会が必要です。ホームページに、これまでの策定経過を全て公開しておりますが、見れない方もいますので、より良い周知方法について、今後、研究していきます。
18	白老コミセン	審議委員長にも一言お話を伺いたい。	【審議会からの意見】 ・先ほど事務局からの説明にもあったが、前回の策定時よりも多くの町民に参加いただいております。町民の意見がしっかりと反映された計画になっていると感じる。 ・また、計画書自体も前回より厚くなっている。審議会でも各委員からあげられた意見をかなり反映させてもらった。8年間の計画であるから、実施できるかどうかは別として、計画にしっかり記載しておかなければならないと考えている。 ・今日の説明会も様々な意見が出たが、改めて全て反映させることは難しいと感じた。説明会3日目であるが、別の地区では町立病院はなくした方がいいのではという意見が出た一方で、今日はあった方がよいという意見が出た。今後の審議会ですっきりと審議し検討していきたい。